

# aerosmith®

コンストラクションツール

## 取扱説明書

CT90



このたびは、エアロスミス・コンストラクション  
ツールをお買い上げいただきありがとうございます。  
本機は誤った使い方をしますと重大な事故につな  
がります。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み  
いただき、正しく安全にご使用下さい。  
また本書は必要なときにすぐに取り出せるよう、  
身近に大切に保管してください。

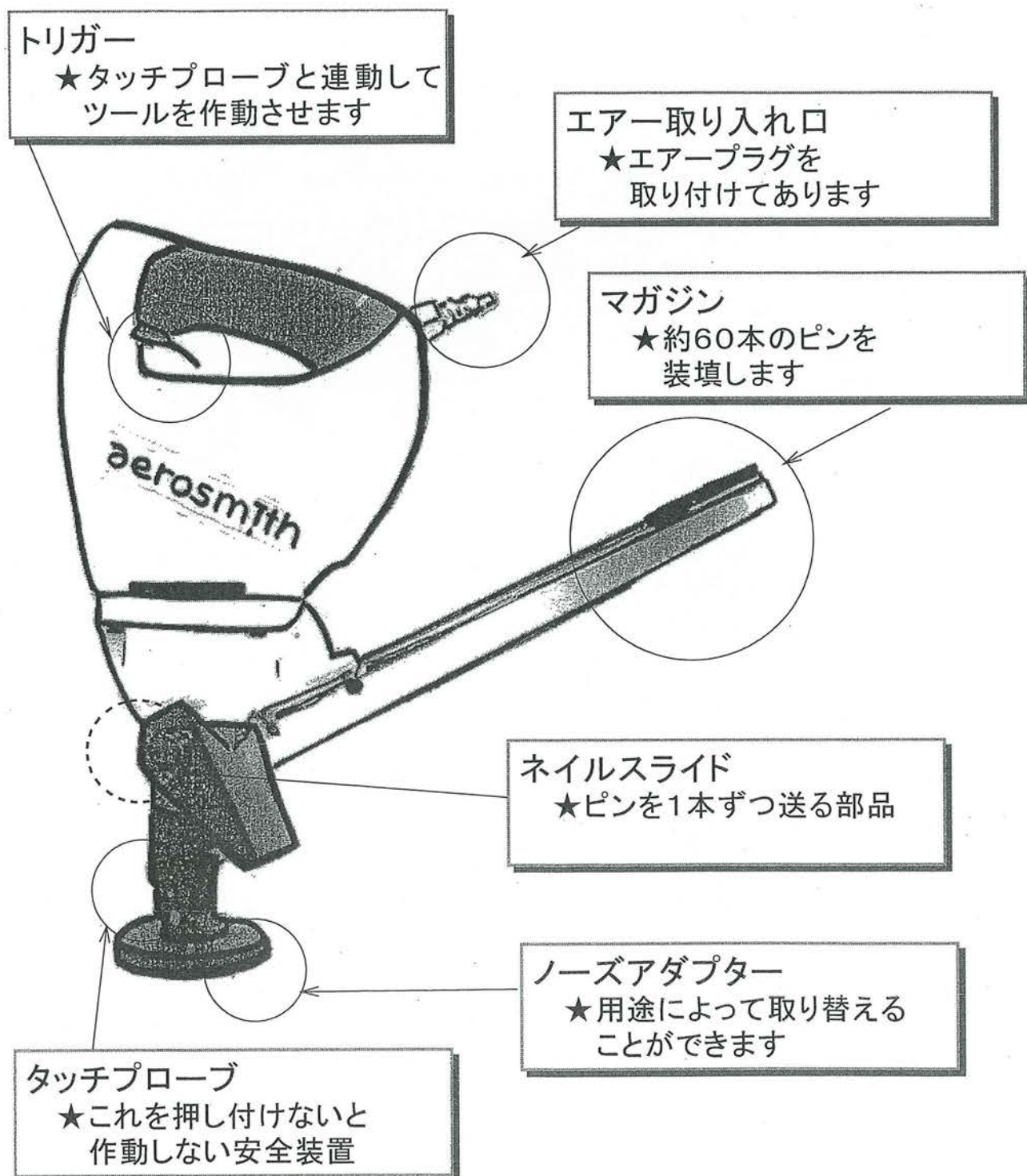
THE SCHNEIDER CORP.(JAPAN) LTD.

# 目 次

	頁
1. 各部の名称と機能 .....	1
2. 安全作業のために .....	2
作業前	
作業中	
作業後	
3. 使用前の点検確認 .....	8
4. 使用 方 法 .....	9
5. 性能を維持するために .....	10
6. ガイダンスサポート .....	11
－故障かな？と思ったら－	
7. 部 品 表 .....	13
8. 部 品 展 開 図 .....	14
9. ノ ー ズ 部 分 .....	15
10. 製 品 仕 様 .....	17
11. 技術習得について .....	18

# 1. 各部の名称と機能

## コンストラクションツール CT90



## 2. 安全作業のために

事故を未然に防ぐため、ご使用前に、取扱説明書に記載されている〈安全作業のために〉をすべてよくお読みの上、理解し、指示に従って正しくご使用下さい。

注意事項の表示について……安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



**警告** 誤った取扱いをしたときに、使用者及び周りの人々が死亡または重傷を負う可能性を想定した表示です。



**注意** 誤った取扱いをしたときに、使用者及び周りの人々が傷害を負う危険を想定および物的損害の発生を想定した表示です。また、本機の性能を発揮されず損傷につながることを想定した表示です。状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

### 付属品の確認について

本機が到着しましたら、破損や付属品の紛失がないか(またご使用前にも必ず)ご確認ください。

コンストラクションツール CT90 x1(アダプターFA20・ノーズプレート506-40付)  
安全メガネ x1、専用オイル x1、六角レンチ x4、  
ノーズプレート506-55 x1、取扱説明書 x1

※他にオプションのアダプターを混載している場合があります。





## 2. 安全作業のために



### 2-1 <はじめに>

- ①指定以外の用途・使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。  
取扱説明書の記載事項、製品・ラベル等の表示を厳守してください。
- ②製品の分解・改造および部品の改造は、絶対にしないで下さい。  
(破損・故障・作動不良・人身事故の原因)
- ③作業場所の環境をよく理解し、作業場の指示・指導に従い、安全な作業を心がけて下さい。
- ④作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないで下さい。  
(人身事故の原因)
- ⑤雨、ぬれた場所、蒸気などの湿気の多い場所でのご使用はしないで下さい。  
(製品寿命が短くなる)
- ⑥高温や直射日光の当たる場所に放置しないで下さい。  
(製品寿命が短くなる)
- ⑦開口部の吸気・排気をふさぐ状態、異物の混入でのご使用はしないで下さい。(破損・寿命低下・人身事故の原因)
- ⑧本機の動力源は指定品をご使用下さい。動力であるコンプレッサーの取扱説明書をよくお読みになり厳守してください。
- ⑨作業環境に対応し、保護メガネ・保護帽・安全靴・防音保護具などを着用して下さい。(人身事故の原因)
- ⑩指定のエアロミス・エアピンを必ずご使用下さい。  
(破損、異常摩耗、寿命低下、人身事故の原因)
- ⑪指定の専用オイルを必ずご使用下さい。  
(破損・故障・作動不良・異常摩耗・寿命低下の原因)
- ⑫移動時・作業終了時は、必ず本機からエアホースを外してください。
- ⑬異常を感じたら絶対に使用しない。

安全にご使用いただくために (ご使用上の一般的な注意事項について述べておりますので、お買い求めの製品と異なる製品のことを掲載している部分があります。)

**1. 指定用途以外には使わない!**

本取扱説明書に指定された用途以外には、お使いにならないで下さい。

**2. 正しい取扱いで安全作業!**

本取扱説明書に従い、正しい取扱いで安全に作業して下さい。

お子さまなど、正しい取扱いを十分知らない人、正しい操作ができない人には絶対に使わせないで下さい。

**3. 圧縮空気以外は使用しない!**

本機を圧縮空気以外の高圧ガス(例えば酸素、アセチレン、プロパン、二酸化炭素など)で使用しますと、爆発などの危険がありますので圧縮空気以外は絶対に使用しないで下さい。

**4. 引火、爆発に注意!**

釘・鋸の打ち込み時に火花が飛散することがありますから、ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤等、引火または爆発のおそれのある物質のある場所では危険ですので、絶対に使用しないで下さい。

**5. 整理整頓は安全の第一歩!**

整理整頓は、安全の第一歩です。作業台、作業場所は常にきちんとし、十分に明るくしておいてください。

**6. 作業関係者以外は近づけない!**

作業関係者以外は、作業場所に近づけないで下さい。特に、お子様は危険です。

**7. 正規の部品を正規の位置に!**

取り付けであるネジ類・カバー類は取り外さないで下さい。それぞれ大事な役目を果たしています。また、改造したりして使用することは危険ですので絶対しないで下さい。

**8. 使用前に機体の点検!**

使用前には必ず故障部分はないか、ネジ類の締め付けは完全か、欠損部品、錆び付き部品等はないかを点検して下さい。

**9. 作業前にまず正しい服装を!**

きちんとした服装で作業して下さい。ネクタイを付けたら、袖口を開いたままで作業しますと危険です。

**10. 保護メガネで目の保護を!**

作業中は必ず保護メガネをご使用下さい。

**11. 耳の保護を!**

釘・鋸打ち作業をするときは防音保護具を付けて下さい。また、状況により周りの人にも防音保護具を付けて下さい。

**12. 作業中は周囲の人にも注意!**

木材、釘の破片や打ち損じの釘鋸などが当たると危険です。作業中は周りの人の安全確保にも十分注意を払い、釘鋸の出口付近に人体、手足を近づけないようにして下さい。

**13. 安全作業は、安定した姿勢から!**

無理な姿勢での作業は危険です。常にしっかりした足場で、身体の安定を保って作業して下さい。

**14. 無理な作業は事故のもと!**

工具や付属品は、その能力を超えた作業をさせないで下さい。無理な作業は、製品の損傷を招くばかりでなく、危険ですので、避けて下さい。

**15. 異常が起きたらすぐ使用中止を!**

使用中機械の調子が悪かったり、異常に気が付いた場合には直ちに使用を止め、点検・修理に出して下さい。

**16. コンプレッサー・エアースーツや釘打機を長時間直射日光にさらさない。**

直射日光に長時間さらされるような使い方、または、放置するようなことはしないで下さい。

**17. 製品は大事に扱う!**

落としたり、ぶつけたりしますと、外枠などが変形したり亀裂や破損を生ずる場合がありますので、十分ご注意ください。

また、傷を付けたり刻印をしたりしないで下さい。高圧の空気が内部にあるため、ひびが入ると危険です。亀裂を生じている状態や亀裂部などから空気漏れしている状態では、絶対に使用しないで下さい。

**18. まめな手入れで寿命を長く!**

常に製品の手入れに心がけ、清潔に保って下さい。

**19. 定期点検は安全の基本!**

常に安全に能率よくご使用いただくため、定期点検をして下さい。

**20. 点検、修理はお買い求めの販売店で!**

点検・修理はお買い求めの販売店にお申し付け下さい。また、部品を交換する場合は、必ず指定された純正部品をお使い下さい。

**21. 製品の保管にも十分な配慮を!**

製品は、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管して下さい。また、保管の際は、内部が錆びないようホース取付口から2cc程度の指定の潤滑油を入れて、一旦エアースーツをしてから保管して下さい。

株式会社シュナイダー・ジャパン  
<Tel> 03-3537-3355





警告

## 2. 安全作業のために



注意

2-2 <作業前> ツールにエアホースを接続する前に……

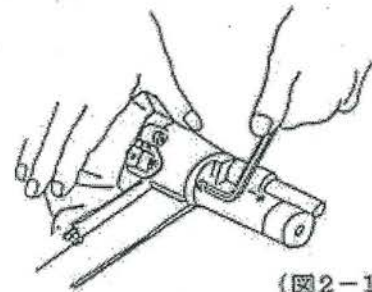
### ① 保護メガネを着用する。

打ち込み作業をするとき、排気圧により粉塵などが舞い上がったり、また打ち損じのピンが跳ね上がったりすると危険ですから、必ず保護眼鏡を使用して作業してください。



### ② 各部のネジの締め付けを確認する。

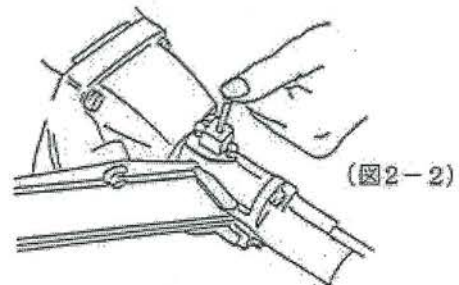
ネジが緩んだままで使うと故障や事故の原因になりますので、使用前に点検してください。(図2-1)



(図2-1)

### ③ ネイルスライドの動きを確認する。

ネイルスライドキャップの穴にピンを差し込み、ネイルスライドを動かしてください。(図2-2)  
(しばらく使用しなかったときなどは、内部のオイルが固くなって、エアの力だけでは動かないことがあります)

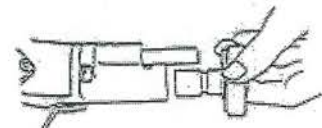


(図2-2)

### ④ アダプターの上下の動きを確認する。

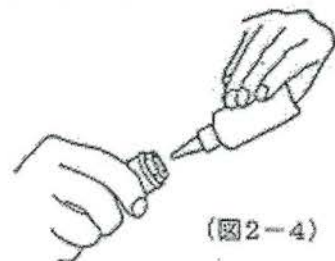
アダプターとノーズのすき間に汚れが付着し、ロックされると大変危険です。  
必ずアダプターとノーズの内側・外側をウエスで清掃して下さい。(図2-3)

(図2-3)



### ⑤ 注油を行う。

注油せずに使用すると、ツール内部にオイルがまわらず、シール不良やOリングやバルブの作動不良など故障の原因となりますので、必ず作業前に付属の専用オイルを数滴注油してください。(図2-4)



(図2-4)

⚠ 警告

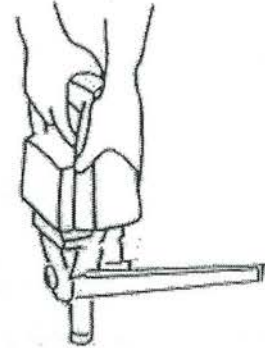
## 2. 安全作業のために

⚠ 注意

### 2-3 <作業中>

#### ① エアー圧力は正しく。

エアー圧力は打ち込み対象物に合わせて正しく調整することが必要です。もし、圧力が低すぎたりすると、ツールへの反動があり危険です。必ず最適圧力に調整を行ってください。



#### ② ツールを確実に押さえ付ける。

タッチプローブが確実に押さえ付けられないとツールは作動しません。押さえ付けたことを確認の後、トリガーを引きます。

押さえ付けるときは直角になるように使用してください。

#### ③ トリガーを引いたままツールの移動をしない。

エアーホースを接続した状態で、ツールを持ち歩いたり手渡しなどをすると、誤って発射した場合に思わぬ事故につながりかねません。

移動する際には、必ずトリガーから指を離してください。

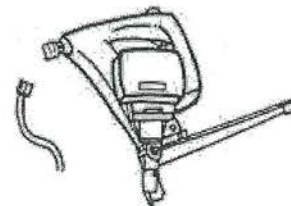


#### ④ 作業中断時の扱い

ピンの装填、ピン詰まり、部品交換、移動時・作業中断時などの場合は、必ずエアーホースを外してください。

#### ⑤ 注油をする。

連続して作業を行うときは、作業の途中(約300本打ち込み後)でオイルを数滴エアー取り入れ口から注油してください。







## 2. 安全作業のために



### ⑥ エアークンプレッサー以外は使用しない。

本機は圧縮空気を動力源とする工具です。空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと、異常燃焼を起こし、爆発の危険を伴いますので、エアークンプレッサー以外は絶対に使用しないでください。

また、エアークンプレッサーの圧力は1.3MPa(13.2kgf/cm<sup>2</sup>)以下で、エアークンプレッサーを通した水分の無いきれいなエアークンプレッサーを使用してください。

### ⑦ 専用ピンを使用する。

エアークンプレッサー純正ピン以外を使うと本機の故障の原因となるばかりでなく、ピンが折れたりして大変危険です。必ず指定のエアークンプレッサー専用ピンをご使用ください。

### < 作業後 >

まず、エアークンプレッサーを本機から外し、マガジン内のピンを全て取り出します。

本機エアークンプレッサー取り入れ口へオイルを注油し、エアークンプレッサーを接続します。本機の中に、オイルが行き渡りましたら、エアークンプレッサーを取り外します。保管中の、ゴム材質の部品の劣化、及び金属部の錆を防ぎます。コンプレッサーのドレンコックを開きエアークンプレッサー内の圧縮空気をすべて抜いてください。

(詳細はコンプレッサーの取扱説明書をお読み下さい)

各機材は、ウエスできれいに拭き取り、必要があれば、次の現場が始まる前に、オーバーホールをしましょう。

……………取次店へご相談下さい。

### 付記： < 作業前……………コンプレッサー >

必ずエアークンプレッサーをご使用ください。

使用方法、設置の仕方等は、ご使用のエアークンプレッサーの取扱説明書をよく読んで、それに従って下さい。

用途に合った圧力に調整してご使用ください。



警告

### 3. 使用前の点検確認



注意

①使用前にネジの緩み、各部部品の欠損がないか点検する。

②安全作業のためにの通り正しく使用してください。

③アダプターの上下の動きを確認して下さい。

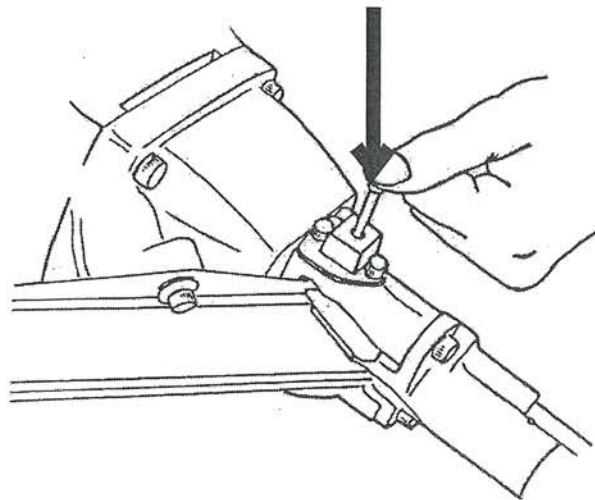
汚れが付着した状態で使用しますと、  
タッチプローブが作動せず大変危険です

④エアピンのサイズと部品ノーズ・プレートのサイズを確認する。  
使用するエアピンの長さ合ったノーズ・プレートに装着する。  
適切なエアピン・サイズの確認。

⑤ネイルスライドの動きのチェック。

六角レンチ 1/4 またはエアピンを  
差し込んで動きを確認する。

最初硬くても、2、3回動かしている内に  
スムーズに動けばOK。  
(バネの反発はもともとある。)





警告

## 4. 使用方法

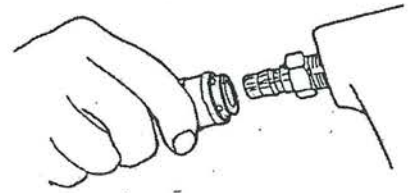


注意

使用手順……使用する場合は必ず「使用前の点検・確認」を行って下さい。

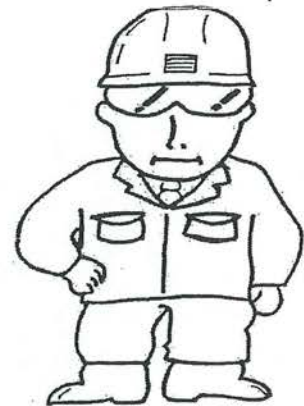
### ① エアーホースの接続

エアー圧力値が0.63MPa(6.5kgf/cm<sup>2</sup>)以上になってから、本体へホースを接続して下さい。  
エアープラグ(ツール側)にエアーソケット(ホース側)を接続します。このとき、トリガーに指を掛けたりしないで下さい。



### ② ピンの装填

本体ホースを外して、マガジンの先端についているネイルストップを指で持ち上げ、ピンをマガジンの中へ入れます。



### ③ 打ち込み

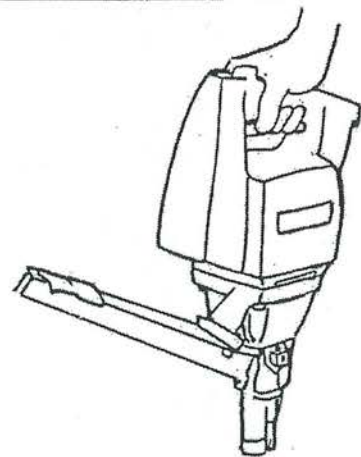
- A 常に安全メガネとヘルメットを着用して下さい。
- B 打ち込み対象物に対して直角にツールを押し付ける。
- C トリガーを引く。
- D ツールを対象物から離すと同時に、トリガーから指を離す。

☆続けて作業を行うときは、上記のBからDを守って繰り返します。

### ④ 二度打ち

一回の打ち込みで、ピンが完全には入らなかったとき、二度打ちができます。その場合は、ノーズの中にピンが入っていないことを確認してから行います。

圧力値を1.0MPa(10.2kgf/cm<sup>2</sup>)以下に下げてください。



**注意：**二度打ちをするときに、ピンが1本でもノーズの中に残っていると、大変危険です。

必ずピンがノーズの中に残っていないことを確認してから行ってください。

ピンが対象物に完全に入らなかったとき、原因が別に考えられます。原因を取り除いてから作業を始めてください。





## 5. 性能を維持するために



### ①空打ちはしない

マガジンにピンが入っていない状態で打ちますと、空打ちになり、ツール内部のピストン、バンパーの耐久性が著しく低下します。空打ちはしないでください。特に高圧での空打ちは、通常の消耗部品以外にも負荷がかかり過ぎますので、絶対に避けてください。

### ②使用の前後には必ず注油する。

オイルを注油しないで使用すると、ツール内部の潤滑が悪くなり、バルブの作動不良、ゴム製部品の摩耗など、故障の原因になりますので、使用の前後には、必ずエア取り入れ口よりオイルを注油してください。オイルの注油の目安はエアピン300本に一回です。

### ③定期点検を行う

ツールの性能を維持するために、清掃、調整、グリースアップ等を定期的に行ってください。特に、オーリング、バンパー等のゴム製部品の点検を怠りなく行ってください。

### ④エアコンプレッサーの水抜きをする。

エアフィルターやエアータンク内に水が溜まると、ツールへ水分が入り、ツール内部のオイルを流し、故障や能力低下の原因となりますので、作業終了時には必ず、エアータンクのドレンコックを開き、水抜きを行ってください。

水抜き後には、ドレンコックは締めてください。

ホース内に圧縮空気が入った状態で、エアコンプレッサー側のプラグを外さないでください。

⑤本機を寒冷地で使用する場合、凍結による作動不良を防止するため、あらかじめ暖めてからご使用ください。

作業終了後は室内にて保管してください。

6. ガイダンスサポート  
—故障かな?と思ったら—



**警告・厳守**

**部品交換の作業前に**

- ・再度、取扱説明書・使用上の注意・警告書を読み、内容を理解して下さい。
- ・必ずエアホースのチャックを本体から抜いてください。
- ・マガジン内にあるエアーピンを全て抜いてください。

必要工具：六角レンチ（インチM 3/16）、ウエス、  
エアロスミス専用のグリス・オイル、木ハンマー

症 状



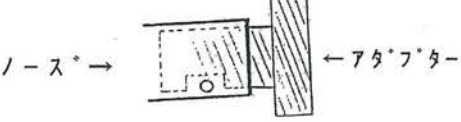
下記に症例を示します。該当する症状がありましたら、次の頁に原因と処置方法が書いてありますので、該当する番号のところを良く読んで、指示に従って下さい。

1. 本体へホースを接続したがピンが発射しない。
2. 本体へホースを接続したらエアーが激しくもれる。
3. 本体へホースを接続したらエアーがかすかにもれる。
4. ピンの頭が面より浮く。
5. ピンの頭が面より沈む。
6. アダプターがロックされて加重を加えても動かない。

★項1～6の処置をしても解消しない場合は、  
絶対に使用しないでください。  
直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店、または  
最寄りの代理店まで、点検・修理に出してください。

問い合わせ先（株）シュナイダー・ジャパン <Tel> 03-3537-3355

## ＜ 症状別、原因と処置方法 ＞

<p><b>1. 本体へホースを接続したが ピンが発射しない。</b></p> <p><b>原因①</b> コンプレッサーのスイッチが入っていない。  <b>【処置】</b> コンプレッサーのスイッチをONにして、圧力値が0.63MPa(6.5kgf/cm<sup>2</sup>)以上になってから本体へホースを接続して下さい。</p> <p><b>原因②</b> 本体タッチプローブが上がっていない。  <b>【処置】</b> 本体の重量では作動しません。手で加重して下さい。</p> 	<p><b>2. 本体へホースを接続したら エアが激しくもれる。</b></p> <p><b>原因①</b> エア圧力値が低すぎる。  <b>【処置】</b> エア圧力値が0.63MPa(6.5kgf/cm<sup>2</sup>)以上になってから本体へホースを接続して下さい。</p> <p><b>原因②</b> シリンダー(363)とメインバルブ(364)がロックされている。  <b>【処置】</b> 右図に従い解除して下さい。                  メインバルブの穴へドライバーを浅く入れ、下へずらす。</p> 
<p><b>3. 本体へホースを接続したら エアがかすかにもれる。</b></p> <p><b>原因①</b> 体内部のオイルが無く、Oリングがドライになっています。  <b>【処置】</b> 本体カプラ口、またはソケット口へ専用オイルを数滴注入する。                  (給油を怠りますと錆や摩耗が生じ故障の原因となります。使用前、使用後に数滴注入し、2～3秒間ほど負荷作動を2～3回行って下さい。)</p> <p><b>原因②</b> Oリング他が、消耗または摩耗しています。  <b>【処置】</b> 新しい部品と交換、Oリング類へはグリースを塗布して下さい。</p>	<p><b>4. ピンの頭が面より浮く。</b></p> <p><b>原因①</b> エア圧力値が低い。  <b>【処置】</b> 適切な圧力値に上げて下さい。</p> <p><b>原因②</b> ノーズ(505)とアダプターの間にあるスペーサー(511-1)が付いている。  <b>【処置】</b> このスペーサー(511-1)は貫入長の調整に使用しています。リテイニングクリップ(751)を外し、スペーサーを取り外して下さい。</p> 
<p><b>5. ピンの頭が面より沈む。</b></p> <p><b>原因①</b> エア圧力値が高い。  <b>【処置】</b> 適切な圧力値に下げてください。</p> <p><b>原因②</b> ノーズ(505)とアダプターの間にあるスペーサー(511-1)が付いていない。  <b>【処置】</b> スペーサー(511-1)を貫入長の調整に使用します。                  リテイニングクリップ(751)を外し、スペーサー(511-1)を取り付けて下さい。</p>	<p><b>6. アダプターがロックされて 加重を加えても動かない。</b></p> <p><b>原因</b> 汚泥がノーズとアダプターの間に着しています。  <b>【処置】</b> リテイニングクリップ(751)を抜き取り、アダプターを木ハンマーで叩き外します。ウエスで汚れを拭き取ります。  <b>⚠ 警告</b> この症状は危険です。                  エアホースを接続する前に、アダプターが上下に動くことを必ず、確認して下さい。</p>

★項1～6の処置をしても解消しない場合は、絶対に使用しないでください。  
 直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店、または最寄りの代理店まで、  
 点検・修理に出してください。

問い合わせ先 (株) シュナイダー・ジャパン <Tel> 03-3537-3355

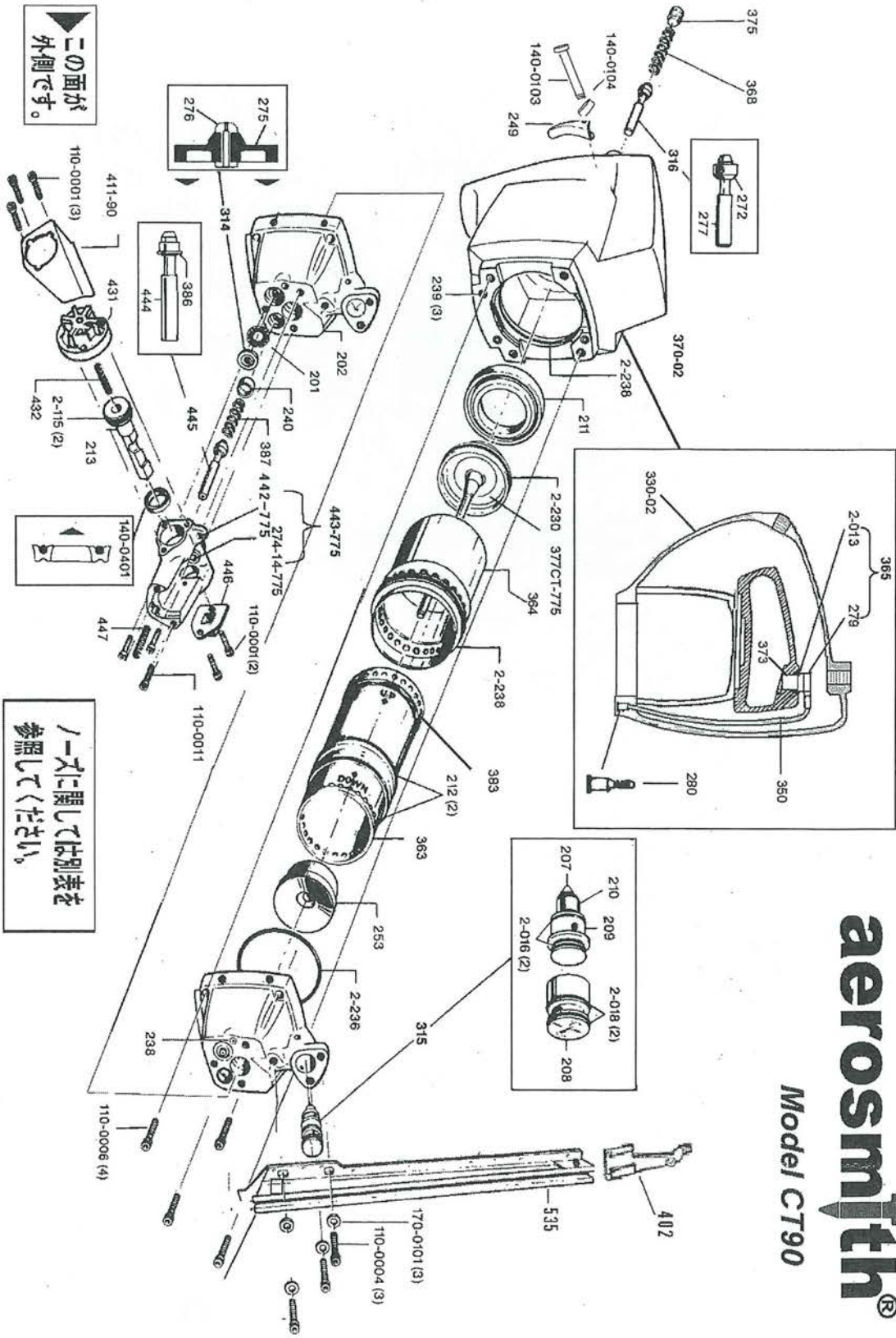


## 7. 部 品 表

部品番号	部 品 名	必要個数	部品番号	部 品 名	必要個数
202	ローアハウジング	1	443-775	ノーズ サポート アセンブリCT90	1
207	パイロット ハルブ ステム	1	445	タッチ ハルブ アセンブリCT	1
208	パイロット ハルブ キャップ	1	446	ネイルスライド キャップ	1
209	パイロット ハルブ シート	1	447	プレッシャー スプリング	1
210	パイロット ハルブ シール	1			
211	メイン ハルブ シート	1	505	ノーズCT	1
212	排気シール	2	506-40	ノーズ プレート40	(1)
213	ネイル スライド	1	506-55	ノーズ プレート55	(1)
238	カスケット シール	1			
239	カスケット シール	3	511-1	スペーサー	1
240	カスケット シール	1	518	タッチ フロップ アセンブリCT90	1
243	タッチ ハルブ シート	1	751	リテイニング クリップ	1
249	トリガー	1	754	ノーズ セットCT	1
253	ハンパー	1			
535(または270)	マガジン	1	FA20	アダプター	い ず
272	トリガー ハルブ ステム シール	1	WA-( )	アダプター	れ か
274-14-775	ドライバー ガイト ブッシュ	1		各種アダプター	1
277	トリガー ハルブ ステム CT	1			
279	ホース 取付口	1	2-013	O-リング	1
280	ホース 取付口	1			
314	ピストンリターンダイヤフラム アセンブリ	1	2-016	O-リング	2
315	パイロット ハルブ アセンブリ	1	2-018	O-リング	2
316	トリガーハルブステム アセンブリCT	1	2-115	O-リング	2
330	ハンドル ハウジング	1	2-230	O-リング	1
350	ホース90	1	2-236	O-リング	1
363	シリンダー90	1	2-238	O-リング	2
364	メイン ハルブ 90	1			
365	トリガー ブッシュ	1	140-0103	トリガー ピン	1
368	トリガー ブッシュ スプリング	1	140-0104	ロック ナット	1
370-02	ハンドル ハウジング アセンブリ90	1	140-0401	ネイル スライド シール	1
373	ハルブ シート	1	170-0101	フラット ワッシャー	3
375	パイプ フラグ	1			
377CT-775	ピストンドライバーアセンブリ90CT	1	110-0001	キャップ スクリュー	5
383	メイン ハルブ ガイド	1	110-0004	キャップ スクリュー	5
386	タッチ ハルブ シール	1	110-0006	キャップ スクリュー	4
387	タッチ ハルブ スプリング	1	110-0011	キャップ スクリュー	3
402	ネイル ストップ	1	110-0751S	キャップ スクリュー	4
411	プロテクション シールド 90	1	110-0751L	(SかLのいずれかを使用)	
431	スライド エンド プレート アセンブリ	1			
432	ネイル スライド スプリング	1			

☆いくつかのアセンブリは、構成部品に関して重複しています。  
展開図を参考にして下さい。

# 8. 部品展開図

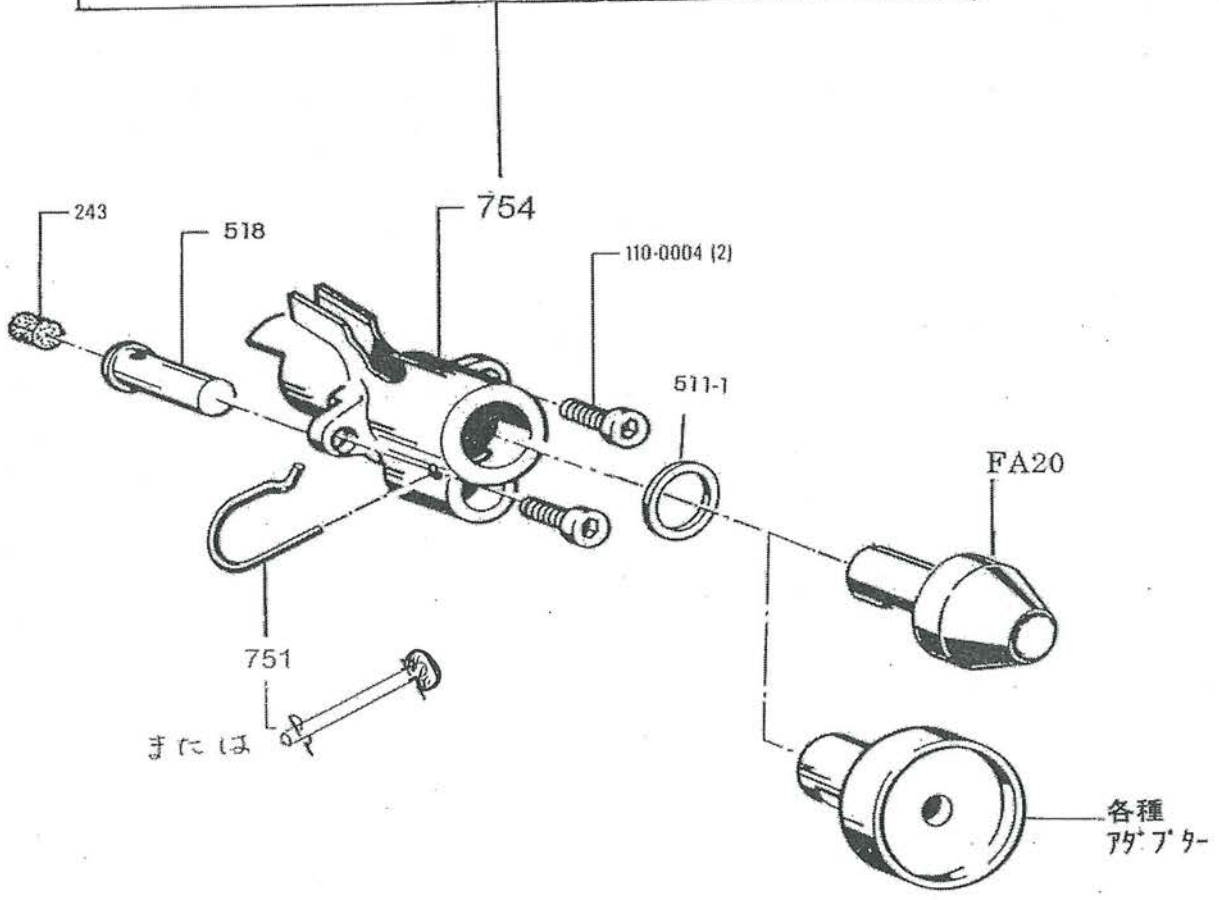
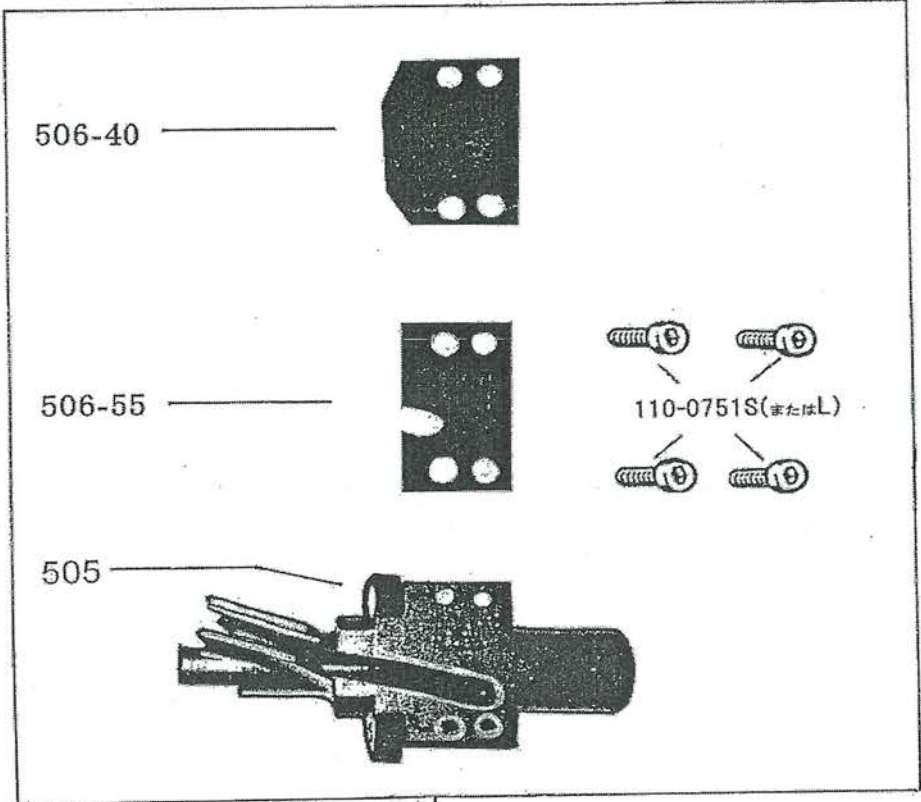


この面が  
外側です。

ノーズに関しては別表を  
参照してください。

**aerosmith®**  
Model CT90

# 9. ノーズ部分

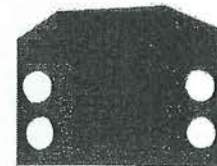




## 9. ノーズ部分

＜使用するエアープインのサイズに合ったノーズ、及びノーズ・プレートを装着する＞

このツールに付いているノーズ・セットCT (754) は、エアロスミス・エアープイン(バラ、線径φ3.6mmx 頭径7.7mm)の65mm以下に対応できます。  
使用するエアープインの長さに応じて、ノーズ・プレートを着脱し、調整します。



ノーズCT90 (505)  
ノーズ・プレートを付けない状態で、  
エアロスミス・エアープイン  
(55mmより長いもの  
～65mmまで)  
の打ち込みに適応

ノーズ・プレート (506-55)  
これをノーズに装着することにより、エアロスミス・エアープイン  
(40mmより長いもの  
～55mmまで)  
の打ち込みに適応

注意: このプレート506-55をノーズに装着した状態で、40mm以下の短いピンを打たないこと!!  
大変危険です。部品破損の恐れもあります。

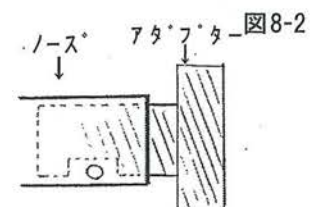
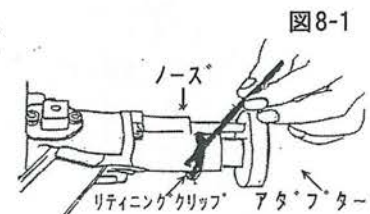
ノーズ・プレート (506-40)  
これをノーズに装着することにより、エアロスミス・エアープイン  
(～40mmまで)  
の打ち込みに適応

- ・コンストラクションツールCT90は、ご使用になるエアープインのサイズに適した最小タイプのノーズ・プレートを付けてご使用下さい。  
(例: 30mmのピンを打つ場合は、506-40のノーズ・プレートを装着)

＜アダプターの交換＞

アダプターの交換が必要になったときは、以下のように交換してください

- 1) ノーズ(505)に付いているリテイニングクリップ(751)を抜き取り、アダプターを外します。(図8-1)  
作業ポイント: 六角レンチ等の長い棒を用いると簡単に抜けます。
- 2) ノーズの内部をウェスできれいにして、新しいアダプターを差し込みます。この時、ノーズのピンホールとアダプターの溝を揃えてください。(図8-2)
- 3) アダプターをノーズの方向へ押し上げながら、リテイニングクリップをノーズのピンホールへ軽く叩きながら差込固定します。



## 10. 製品仕様

項目	仕様
商品名	: エアロスミス・コンストラクションツール
記号	: CT90
寸法	: 長さ : マガジン先端まで 435mm ハウジング部 210mm 高さ : 450mm 幅 : マガジン先端まで 150mm ハウジング部 130mm
重量	: 5.0kg
カラ取付部	: 3/8" -18N.P.T(低圧用) TT-05416(高圧用・マックス社製)
エアピン装填本数	: 約60本
使用圧力	: 0.7~1.30MPa(7.2~13.3kgf/cm <sup>2</sup> )
ピン打ち方法	: 単発打ち
衝撃音	: 鋼板への打込音 80dB/sec.以下 コンクリートへの打込音 76dB/sec.以下

### ○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、遮音壁を設けて作業してください。

## 11. 技術習得について

本機の取り扱いにあたって、メンテナンスの必要性が発生した場合、現場にて対応できる処置の仕方を指導しております。  
技術講習をご要望の方は、ご相談ください。

問い合わせ先(株)シュナイダー・ジャパン <Tel> 03-3537-3355



【エアロスミス総輸入発売元】

株式会社シュナイダー・ジャパン

〒104-0033 東京都中央区新川1-5-17 エイハ新川3F

<Tel> 03-3537-3355 <Fax> 03-5566-1170